

教養科目（平成26年度入学生用）

	科目 コード	授業 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職 資格	摘要						
総合	60010	別掲	総合教養講座	2	30	1・2	後期	高橋 永行		授業コード別掲 9月開講						
	65000		教養ゼミ	②	30	1	前期	(別掲)								
	60030		キャリア形成支援講座	1	15	1	集中	小林 文雄								
	教養教育科目 主題別科目	60110	60111	心理学（火曜Ⅱ限）	2	30	1・2	前期	清水 浩	○	[国]「現代社会と教育問題」で読替 教職必修					
		60110	60112	〃（火曜Ⅲ限）												
		60120		現代社会と教育問題	2	30	1・2	後期	村瀬 桃子							
		60130		日本国憲法	2	30	1・2	後期	堀田 学							
		60140		国際関係論	2	30	1・2	後期	堀田 学							
		60150		現代社会論	2	30	1・2	前期	大井 慈郎							
		60160		ジェンダー論	2	30	1・2	後期	松田 澄子							
60170			生命の科学と倫理	2	30	1・2	前期	高橋 和昭								
60180			人間発達論	2	30	1・2	前期	鈴木 一憲								
60200			芸術学	2	30	1・2	前期	石澤 靖典	「健康と栄養」で読替							
情報リテラシー			情報処理演習Ⅰ（水曜Ⅱ限）	2	30	1	前期	鈴木 久美	②	英語英文指定 国語国文指定 社会情報指定 日本史指定 国語国文指定 国語国文指定 国語国文・日本史指定 社会情報指定 英語英文指定 国語国文指定 「情報処理演習Ⅰ及びⅡ」 の単位修得者が望ましい						
			〃（月曜Ⅱ限）													
			〃（火曜Ⅰ限）													
			〃（水曜Ⅳ限）													
			〃（木曜Ⅰ限）													
			情報処理演習Ⅱ（月曜Ⅱ限）	2	30	1	後期	清水 浩								
			〃（木曜Ⅰ限）													
			〃（月曜Ⅲ限）													
		〃（水曜Ⅲ限）														
60230	60231	情報処理演習Ⅲ	2	30	2	前期	鈴木 久美									
60230	60232	〃						伊豆田義人								
共通基礎科目 外国語	60310		英語一	2	30	1・2	前期	横山 利夫	②	[国語国文学科] 日本史学科 社会情報学科]						
	60320		英語二													
	60330		英語三													
	60340		英語四													
	60350		英語五													
	60360		英語六													
	60370		英語七													
	60380		英語八													
	60390		英語九													
	60400		英会話A													
	60410		英会話B													
	60420		英会話C													
	60430		英会話D													
	60450		海外語学実習								3	90	1・2	集中	英文専任教員	2月開講予定
	60460	60461	フランス語一（月曜Ⅱ限）								2	②	30	1・2	前期	高橋 梓
	60460	60462	〃（月曜Ⅳ限）													
	60470	60471	フランス語二（月曜Ⅱ限）								2	30	1・2	後期	高橋 梓	
	60470	60472	〃（月曜Ⅳ限）													
	60480		フランス語三								2	30	1・2	前期	高橋 梓	初修者は「フランス語一」 または「中国語一」を履修することが望ましい
	60490		フランス語四								2	30	1・2	後期	高橋 梓	
	60500	60501	中国語一（月曜Ⅲ限）								2	30	1・2	前期	齋藤 知広	英語英文・日本史指定
	60500	60502	〃（月曜Ⅳ限）													
	60500	60503	〃（月曜Ⅱ限）													
	60500	60504	〃（月曜Ⅲ限）													
	60510	60511	中国語二（月曜Ⅲ限）								2	30	1・2	後期	齋藤 知広	国語国文・社会情報指定
	60510	60512	〃（月曜Ⅳ限）													
	60510	60513	〃（月曜Ⅱ限）													
	60510	60514	〃（月曜Ⅲ限）													
	60520		中国語三								2	30	1・2	前期	齋藤 知広	
	60530		中国語四								2	30	1・2	後期	齋藤 知広	

教養科目（平成26年度入学生用）

	科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職資格	摘要
外国語（英語英文学科）	60460	60461	フランス語一（月曜Ⅱ限）	2	30	1・2	前期	高橋 梓		〔 英語英文学科 〕  初修者は「フランス語一」或いは「中国語一」を履修することが望ましい
	60460	60462	〃（月曜Ⅳ限）							
	60470	60471	フランス語二（月曜Ⅱ限）	2	30	1・2	後期	高橋 梓		
	60470	60472	〃（月曜Ⅳ限）							
	60480		フランス語三	2	30	1・2	前期	高橋 梓		
	60490		フランス語四	2	30	1・2	後期	高橋 梓		
	60500	60501	中国語一（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	前期	齋藤 知広		
	60500	60502	〃（月曜Ⅳ限）							
	60500	60503	〃（月曜Ⅱ限）							
	60510	60511	中国語二（月曜Ⅲ限）							
	60510	60512	〃（月曜Ⅳ限）	2	30	1・2	後期	齋藤 知広		
	60510	60513	〃（月曜Ⅱ限）							
	60510	60514	〃（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	前期	齋藤 知広		
	60520		中国語三							
	60530		中国語四							
60450		海外語学実習	3	90	1・2	集中	英文専任教員		2月開講予定	
共通基礎科目	60610		スポーツ実技一	1	30	1・2	前期	比留間浩介	②	個人種目スポーツ
	60620		スポーツ実技二							個人種目スポーツ
	60630		スポーツ実技三							団体種目スポーツ
	60640		スポーツ実技四							団体種目スポーツ
	60650		スポーツ実技五							レクリエーション・スポーツ
	60660		スポーツ実技六							レクリエーション・スポーツ
	60670		スポーツ実技七							フィットネス
	60680		スポーツ実技八							フィットネス
	60690		スポーツ実技九							7月開講予定
	60700		スポーツ実技十							冬季開講予定
	60720		スポーツ文化論 ※1							2
60710		健康理論 ※1	1	15	1・2	後期	加藤 守匡			

(注) ○数字は必修単位、}○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

※1 「健康理論」及び「スポーツ文化論」は卒業要件のスポーツ実技の単位に含まれないので注意すること

教養科目（平成27年度入学生用）

	科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職資格	摘要						
教養教育科目	総合	60010	総合教養講座	2	30	1・2	後期	高橋 永行		授業コード別掲 9月開講						
		65000	別掲 教養ゼミ	②	30	1	前期	(別掲)								
		60030	キャリア形成支援講座	1	15	1	集中	小林 文雄								
	主題別科目	60110	60111	心理学（火曜Ⅱ限）	2	30	1・2	前期	清水 浩	○	教職必修					
		60110	60112	〃（火曜Ⅲ限）												
		60130	日本国憲法	2	30	1・2	後期	堀田 学								
		60140	国際関係論	2	30	1・2	後期	堀田 学								
		60150	現代社会論	2	30	1・2	前期	大井 慈郎								
		60160	ジェンダー論	2	30	1・2	後期	松田 澄子								
		60190	健康と栄養	2	30	1・2	前期	鈴木 道子								
60180		人間発達論	2	30	1・2	前期	鈴木 一憲									
60200	芸術学	2	30	1・2	前期	石澤 靖典										
情報リテラシー	60210	60211	情報処理演習Ⅰ（水曜Ⅱ限）	2	30	1	前期	鈴木 久美	②	英語英文指定 国語国文指定 社会情報指定 日本史指定 国語国文指定 国語国文指定 社会情報指定 国語国文・日本史指定 英語英文指定 国語国文指定 「情報処理演習Ⅰ及びⅡ」 の単位修得者が望ましい						
	60210	60212	〃（月曜Ⅱ限）													
	60210	60213	〃（水曜Ⅲ限）	2	30	1	後期	藤本 勝成								
	60210	60214	〃（水曜Ⅳ限）													
	60210	60215	〃（金曜Ⅰ限）													
	60220	60221	情報処理演習Ⅱ（水曜Ⅰ限）													
	60220	60222	〃（月曜Ⅲ限）													
	60220	60223	〃（木曜Ⅰ限）													
	60220	60224	〃（水曜Ⅲ限）													
	60220	60225	〃（火曜Ⅰ限）													
60220	60225	情報処理演習Ⅲ	2	30	2	前期	伊豆田義人									
共通基礎科目	外国語	60310	英語一	2	30	1・2	前期	横山 利夫	②	国語国文学科 日本史学科 社会情報学科						
		60320	英語二								後期	北山 長貴				
		60330	英語三								前期	横山 利夫				
		60340	英語四								後期	渡邊真由美				
		60350	英語五								後期	小林 亜希				
		60360	英語六								前期	阿部 隆夫				
		60370	英語七								後期	松井 真人				
		60380	英語八								前期	太田 裕子				
		60390	英語九								後期	金子 淳				
		60400	英会話A								前期	マーニ・タヴ・アコリ				
		60410	英会話B								前期	マーニ・タヴ・アコリ				
		60420	英会話C								後期	マーニ・タヴ・アコリ				
		60430	英会話D								後期	マーニ・タヴ・アコリ				
		60450	海外語学実習								3	90	1・2	集中	英文専任教員	2月開講予定
		60460	60461								フランス語一（月曜Ⅱ限）	2	②	30	1・2	前期
	60460	60462	〃（月曜Ⅳ限）													
	60470	60471	フランス語二（月曜Ⅱ限）	2	30	1・2	後期	高橋 梓	初修者は「フランス語一」 または「中国語一」を 履修することが望ましい							
	60470	60472	〃（月曜Ⅳ限）													
	60480	フランス語三	2	30	1・2	前期	高橋 梓									
	60490	フランス語四	2	30	1・2	後期	高橋 梓									
	60500	60501	中国語一（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	前期	齋藤 知広	英語英文・日本史指定							
	60500	60502	〃（月曜Ⅳ限）													
	60500	60503	〃（月曜Ⅱ限）	2	30	1・2	後期	齋藤 知広	国語国文・社会情報指定							
	60500	60504	〃（月曜Ⅲ限）													
	60510	60511	中国語二（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	後期	齋藤 知広								
	60510	60512	〃（月曜Ⅳ限）													
	60510	60513	〃（月曜Ⅱ限）	2	30	1・2	前期	齋藤 知広								
	60510	60514	〃（月曜Ⅲ限）													
	60520	中国語三	2	30	1・2	前期	齋藤 知広									
	60530	中国語四	2	30	1・2	後期	齋藤 知広									

教養科目（平成27年度入学生用）

	科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職資格	摘要	
外国語（英語英文学科）	60460	60461	フランス語一（月曜Ⅱ限）	2	30	1・2	前期	高橋 梓		〔 英語英文学科 〕	
	60460	60462	〃（月曜Ⅳ限）								
	60470	60471	フランス語二（月曜Ⅱ限）	2	30	1・2	後期	高橋 梓			
	60470	60472	〃（月曜Ⅳ限）								
	60480		フランス語三	2	30	1・2	前期	高橋 梓			
	60490		フランス語四	2	30	1・2	後期	高橋 梓			
	60500	60501	中国語一（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	前期	齋藤 知広			
	60500	60502	〃（月曜Ⅳ限）								
	60500	60503	〃（月曜Ⅱ限）								
	60510	60511	中国語二（月曜Ⅲ限）								
	60510	60512	〃（月曜Ⅳ限）	2	30	1・2	後期	齋藤 知広			
	60510	60513	〃（月曜Ⅱ限）								
	60510	60514	〃（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	前期	齋藤 知広			
	60520		中国語三								
60530		中国語四									
60450		海外語学実習	3	90	1・2	集中	英文専任教員	2月開講予定			
共通基礎科目	60610		スポーツ実技一	1	30	1・2	前期	比留間浩介	②	個人種目スポーツ	
	60620		スポーツ実技二								個人種目スポーツ
	60630		スポーツ実技三								団体種目スポーツ
	60640		スポーツ実技四								団体種目スポーツ
	60650		スポーツ実技五								レクリエーション・スポーツ
	60660		スポーツ実技六								レクリエーション・スポーツ
	60670		スポーツ実技七								フィットネス
	60680		スポーツ実技八								フィットネス
	60690		スポーツ実技九								7月開講予定
	60700		スポーツ実技十								冬季開講予定
	60720		スポーツ文化論 ※1								2
60710		健康理論 ※1	1	15	1・2	後期	加藤 守匡				

(注) ○数字は必修単位、}○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

※1 「健康理論」及び「スポーツ文化論」は卒業要件のスポーツ実技の単位に含まれないので注意すること

教養ゼミ 授業コード

学科	科目コード	授業コード	担当教員
国語国文	65000	65011	北野 達
	65000	65012	千葉 正昭
	65000	65013	馬場 重行
	65000	65014	高橋 永行
	65000	65015	山本 淳
	65000	65016	佐々木紀一
	65000	65017	新藤 透
	65000	65018	村瀬 桃子
英語英文	65000	65021	北山 長貴
	65000	65022	阿部 隆夫
	65000	65023	松井 真人
	65000	65024	横山 利夫
	65000	65025	渡邊真由美
	65000	65026	小林 亜希

学科	科目コード	授業コード	担当教員
日本史	65000	65031	松田 澄子
	65000	65032	菌部 寿樹
	65000	65033	小林 文雄
	65000	65034	吉田 歆
	65000	65035	布施 賢治
	65000	65036	原 淳一郎
社会情報	65000	65042	鳴崎 伸一
	65000	65043	亀ヶ谷雅彦
	65000	65044	伊豆田義人
	65000	65045	清水 浩
	65000	65046	孫 誌銜
	65000	65047	鈴木 久美
	65000	65048	小池 隆太
	65000	65049	松下 幸生
	65000	65050	西川 友子

本年度開講せず

※指定学年（1学年）以外の者が「教養ゼミ」の再履修を要する場合は、別途指示する

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60010		総合教養講座	2	高橋 永行	後期	
<p><b>【達成目標】</b>  多彩な講師から専門性に基づいた幅広い話を聞くことにより、教養を高め、個性や物の見方、捉え方をより豊かなものにし、将来の生き方や進路を考える上で役立させることができる。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>  学外の講師による講義を行う。なお、この科目は地域貢献事業の一環として、広く県民の方々にも公開される。</p> <p><b>【授業計画】</b>  別途掲示する。</p> <p><b>【テキスト】</b>  必要に応じて、資料等を配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>  社会の様々な現場で活躍する方々を講師にお招きして、直に話を聞ける貴重な機会ですので、多くの学生の履修を希望します。</p> <p><b>【評価方法】</b>  課題レポート 30%、授業への参加度 70%。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
65000	別掲	教養ゼミ	2	本学専任教員	前期	
<p><b>【達成目標】</b>  1. 教員と学生、あるいは学生同士の人格的な交わりを通して、大学における学習と高校までの勉学との違いを理解し、大学で学ぶことの意味を自覚できる。  2. 自分を表現する能力、発表能力、文章作成能力などを高め、また、短大の2年間の自発的な学習意欲を高められる。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>  本学の全専任教員が分担して、所属学科の10名程度の学生を相手に少人数授業を行う。授業は「学生主体型」で進められ、グループ討議、ディベート、実験、社会調査、施設めぐり、など様々な学習形態が取り入れられている。</p> <p><b>【授業計画】</b>  全体テーマは「自分と出会う」「社会と出会う」であり、具体的な授業計画は担当教員が決定する。なお、担当教員ごとのテーマは【教養ゼミのテーマ&lt;科目コード&gt;】のページを参照されたい。</p> <p><b>【テキスト】</b>  開講時に担当教員が指示する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>  教養ゼミは、短大生活に対する新入生の期待や勉学への意気込みを萎えさせることなく、新入生の学習意欲を高め、それを持続させていくために設けられた科目です。この科目を通じて学友や教員と出会い、また、本学での授業や生活に慣れて、今後の学びにつなげるようにして下さい。</p> <p><b>【評価方法】</b>  レポート、出欠状況、授業形態などで評価する。  具体的な評価方法は担当教員が決定する。</p>						

## 【教養ゼミ（科目コード 65000）のテーマ】

〔 担当教員＜授業コード＞ 〕  
・ テーマ、メッセージ

### 国語国文学科

北野 達 <65011>

・ 本・文章の読み方を訓練します。ついでに、小論文の書き方も勉強してみましよう。

千葉 正昭 <65012>

・ 現代の諸問題を扱った文章を読み、雑談をしながら短い文章の書き方も勉強してみましよう。

馬場 重行 <65013>

・ 様々な素材を利用して、コミュニケーション能力を高めるためのレッスンをを行います。

高橋 永行 <65014>

・ コミュニケーションロールプレイの体験と、映像鑑賞をもとに自由に雑談をします。

山本 淳 <65015>

・ 日本語の唱歌を対象に、日本語の韻律と西洋音階との親和性について考えます（実演します）。

佐々木紀一 <65016>

・ 西洋古代・中世の物語（ギリシア神話・アーサー王物語・武勲詩）を映像で楽しみ、原典（翻訳）と比較する。

新藤 透 <65017>

・ 日本のサブカルチャーを学び、図書館資料としての位置づけを考えます。

村瀬 桃子 <65018>

・ 前半は社会的弱者、特に性的少数者の問題を、後半は性暴力の問題を中心のテーマとする。

### 英語英文学科

北山 長貴 <65021>

・ 「小学校英語」について考えます。

阿部 隆夫 <65022>

・ 参加生各自の将来の計画を構想し実現するための情報提供をする。主題例として、国際協力事業への参加、留学（例、正規、語学、インターンシップ）、就職（例、航空会社、公務員、外資系企業、新聞社）、進学、資格取得を扱う。特に今年度は、語学実習参加者に配慮した実務内容を盛り込む。

松井 真人 <65023>

・ 鈴木孝夫『日本人はなぜ英語ができないか』を読み、英語を学ぶ意味や効果的な英語学習法を考える。

横山 利夫 <65024>

・ レポートの書き方の基本を習得し、自分が興味、関心ある社会・環境問題についてレポートを作成する。

渡邊真由美 <65025>

・ 1993年にアメリカで製作された映画“The Adventures of HuckFinn”を1885年に出版されたMark Twain, The Adventures of Huckleberry Finnと比較します。どのように改変されているのかを原文と映画とを比較して検討し、改悪なのか、わかりやすさを求めた結果なのかを考えていきたいと思ひます。

小林 亜希 <65026>

- ・英語学習の基本（辞書の活用方法、基本的な文法、発音記号の読み方）を学び、やさしい英語で書かれた短編小説をゆっくり読みます。

## 日本史学科

松田 澄子 <65031>

- ・幕末及び明治以降の女性の歴史をみつめよう。

藺部 寿樹 <65032>

- ・「まつり」を調べて楽しもう。

小林 文雄 <65033>

- ・伝統芸能や伝統楽器などに触れることで、さまざまな文化への理解を深めたいと思います。

吉田 歆 <65034>

- ・仏像のおもしろさを楽しもう。

布施 賢治 <65035>

- ・史料の講読や映像を通じて日本近代史について考える。

原 淳一郎 <65036>

- ・山形の食文化を学び、実際に食べましょう。みなさんの故郷との共通点や違いも考えましょう。

## 社会情報学科

亀ヶ谷雅彦 <65042>

- ・韓流・華流などアジアの映画や音楽、文化について各自で調べて発表します。

伊豆田義人 <65043>

- ・英語の長文の和訳に慣れましょう。

清水 浩 <65044>

- ・絵本を通して、作者の世界観や子ども観を考察します。絵本の読み聞かせも実際にやってみましょう。

孫 誌銜 <65045>

- ・異文化を体験することは自分の中の世界観を広げることでもあります。あなたは隣の国、韓国についてどのくらい知っていますか。韓国文化に触れてみませんか。

鈴木 久美 <65046>

- ・論理パズルを解き、可能ならば作成します。

小池 隆太 <65047>

- ・ゲームの構造分析と制作。ボードゲームやカードゲームをシステム論の観点から考察する。

松下 幸生 <65048>

- ・働くとはなにか（企業の人材育成、労働、卒業後の人生）がテーマです。素材は2010年以降に取り組んだ松下の実態調査資料、公開資料を使います。対話形式のゼミを目指しており、その目的は、自分の言葉で意見、感想、情報の要約をできるようにすることです。

西川 友子 <65049>

- ・「情報」をテーマに、調べ学習や発表等のゼミ活動を通して、「情報」を利活用する力を涵養する。

比留間浩介 <65050>

- ・身体を上手に動かすための方法について、文献調査や演習を通して考えていきます。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60030		キャリア形成支援講座	1	小林 文雄	集中 (9月)	
<p><b>【達成目標】</b></p> <p>1 現在の学生生活と将来の職業生活の橋渡しとなる「キャリア」という考え方を学ぶ授業です。受講者は1年生を想定しています。</p> <p>2 知っているようで意外とわからないのが自分。実践的な自己分析を通じて、自分の性格、持ち味、興味、価値観を見つめます。</p> <p>3 自己分析で得た結果をもとに、自分に合う仕事、合わない仕事、4年制大学の編入の意味について考えます。あわせて就職活動に必要な知識も学びます。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p>自己分析（質問に答えることにより自分を見つめる）、業界・企業研究、企業へのアプローチの仕方、採用試験の受け方</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1～8回（9月中） ※日程など受講に関する詳細は開講前に掲示します  講師：キャリアネットワーク 浅野えみ氏  内容：オリエンテーション「よりよく人生を生きるために」</p> <p><b>【テキスト】</b></p> <p>開講前に指示します</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b></p> <p>◆自己分析により生き方を見つめる講座です。  就職希望者だけでなく編入学希望者も受講してください。（4年制大学に編入学した年（3年生）から、すぐに就職活動が始まります）</p> <p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業への参加度と課題で評価します</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60110	60111 ～12	心理学	2	清水 浩	前期	
<p><b>【達成目標】</b></p> <p>1. 心理学の基本的な事項を実践的な体験を通して習得することをねらう。</p> <p>2. 心理学を身近に感じることで、より深い人間理解へつなげる</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p>人間の感覚・知覚を取り上げる。次にコミュニケーションゲームを通して、人間関係の構築・維持に役立つスキルやストレスマネジメントを体験的に理解します。その上で、パーソナリティの心理学的な捉え方を取り上げ、自分自身の理解も試みます。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <p>①心理学とは ②～⑤人間の感覚と知覚 ⑥～⑦乳幼児の心理 ⑧～⑨児童・青年の心理  ⑩親の心理 ⑪高齢者の心理 ⑫～⑭障害児者の心理 ⑮授業のまとめ</p> <p><b>【テキスト】</b></p> <p>適宜資料を配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b></p> <p>ほぼ毎回コメントを求めますので、講義には積極的に臨むようにしてください。</p> <p><b>【評価方法】</b></p> <p>コメント（50%）、試験及びレポート（50%）</p>						



科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
60130		日本国憲法	2	堀田 学	後期																
<p><b>【達成目標】</b> 日本国憲法は、人権と統治に分かれます。人権では、「生存権」や「社会権」などの問題に関連し、統治では国会や内閣、裁判所がその対象となります。国会が「ねじれ」状態の際には、国会、二院制の意義が問われました。憲法は、遠い存在のように思えますが、実は身近な事象に関連するものでもあります。本講義では日本国憲法の全体像を捉え、自ら考え、答えを導けるようになることを目指します。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>①憲法とは何か</td> <td>⑥基本的人権 2</td> <td>⑪立法権（国会） 2</td> </tr> <tr> <td>②大日本国憲法と日本国憲法</td> <td>⑦基本的人権 3</td> <td>⑫行政権（内閣）</td> </tr> <tr> <td>③国民主権</td> <td>⑧新しい人権</td> <td>⑬司法権（裁判所）</td> </tr> <tr> <td>④平和主義</td> <td>⑨三権分立</td> <td>⑭地方自治</td> </tr> <tr> <td>⑤基本的人権 1</td> <td>⑩立法権（国会） 1</td> <td>⑮憲法改正と国民投票</td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b> 講義の初回に指定します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> 講義ごとにレジュメを配布しますが、自分の手を動かし書くことで理解も深まりますので、板書も多くしたいと思います。また、日々刻々と変化する社会の動きを把握するためにも、新聞やニュースに積極的に触れるようにしてください。</p> <p><b>【評価方法】</b> 期末試験（70%）と授業への参加度（30%）によって総合的に評価します。</p>							①憲法とは何か	⑥基本的人権 2	⑪立法権（国会） 2	②大日本国憲法と日本国憲法	⑦基本的人権 3	⑫行政権（内閣）	③国民主権	⑧新しい人権	⑬司法権（裁判所）	④平和主義	⑨三権分立	⑭地方自治	⑤基本的人権 1	⑩立法権（国会） 1	⑮憲法改正と国民投票
①憲法とは何か	⑥基本的人権 2	⑪立法権（国会） 2																			
②大日本国憲法と日本国憲法	⑦基本的人権 3	⑫行政権（内閣）																			
③国民主権	⑧新しい人権	⑬司法権（裁判所）																			
④平和主義	⑨三権分立	⑭地方自治																			
⑤基本的人権 1	⑩立法権（国会） 1	⑮憲法改正と国民投票																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
60140		国際関係論	2	堀田 学	後期																			
<p><b>【達成目標】</b> 今日の国際社会は、グローバル化の進展と共に国民国家の境界を越え、ヒト・モノ・マネーが行き交っています。また、国際社会に関係する主体（アクター）は、国家だけではなく、NGOや多国籍企業などが存在しています。さらに、環境問題も国家の枠組みを超えた問題として世界的な取り組みが求められています。政治・経済・社会など多面的な側面から世界で起きている出来事を考察できるようになることをめざします。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>①国際関係論とは何か</td> <td>⑥国際社会の生成と発展</td> <td>⑪安全保障</td> </tr> <tr> <td>②国際関係学における諸理論 1</td> <td>⑦冷戦と冷戦後の世界</td> <td>⑫グローバル化</td> </tr> <tr> <td>③国際関係学における諸理論 2</td> <td>⑧第二次世界大戦後の日本外交</td> <td>⑬国際社会と NGO・NPO</td> </tr> <tr> <td>④国際組織 1</td> <td>冷戦後の日本外交と国際社会</td> <td>⑭地域統合と日本</td> </tr> <tr> <td>⑤国際組織 2</td> <td>⑨地域紛争・民族紛争</td> <td>⑮まとめ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑩食糧問題と環境問題</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b> 講義の初回に指定します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> ニュースや新聞などの国際面を読んで、刻々と変わる国際情勢の把握に努めてください。</p> <p><b>【評価方法】</b> 試験（70%）と授業への参加度（30%）により総合的に評価します。</p>							①国際関係論とは何か	⑥国際社会の生成と発展	⑪安全保障	②国際関係学における諸理論 1	⑦冷戦と冷戦後の世界	⑫グローバル化	③国際関係学における諸理論 2	⑧第二次世界大戦後の日本外交	⑬国際社会と NGO・NPO	④国際組織 1	冷戦後の日本外交と国際社会	⑭地域統合と日本	⑤国際組織 2	⑨地域紛争・民族紛争	⑮まとめ		⑩食糧問題と環境問題	
①国際関係論とは何か	⑥国際社会の生成と発展	⑪安全保障																						
②国際関係学における諸理論 1	⑦冷戦と冷戦後の世界	⑫グローバル化																						
③国際関係学における諸理論 2	⑧第二次世界大戦後の日本外交	⑬国際社会と NGO・NPO																						
④国際組織 1	冷戦後の日本外交と国際社会	⑭地域統合と日本																						
⑤国際組織 2	⑨地域紛争・民族紛争	⑮まとめ																						
	⑩食糧問題と環境問題																							

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60150		現代社会論	2	大井 慈郎	前期	

**【達成目標】**

1. 社会学の基礎的な知見を理解する。
2. 現代社会の形成過程とその特徴を理解する。
3. 授業中に取り上げた各社会問題への自分なりの見解をもつ。

**【授業内容・方法】**

「現代社会」と聞いて、具体的にどんなことを思い浮かべるだろうか。

この講義では、「消費」「労働」「地域」の3つを軸に、私たちが生きる現代社会が、①いかにかたちづくられてきたのか、②どのような長所・短所をもっているのか、について社会学を中心として様々な立場の議論を紹介する。それらを踏まえ、コメントペーパーなどを通じて一人一人が「現代社会」の長所・短所を検討する。

**【授業計画】**

毎回、「ファーストフード」「24時間営業」「SNS」「就職活動」といった身近なテーマから議論を始める。各テーマから「消費」「労働」「地域」の3つを軸に、「産業化／脱産業化」「管理」「情報化」「階層格差」「個人化」「高齢化」「グローバル化」という各トピックを論じる。

**【テキスト】**

指定テキストなし。参考文献等は適宜紹介する。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

この講義は「現代社会」を扱うことから、受講生の積極的なコメントを期待する。そのために、毎授業後にコメントペーパーを書いてもらう。

**【評価方法】**

毎授業後のコメントペーパー（50%）、期末テスト（50%）。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60160		ジェンダー論	2	松田 澄子	後期	

**【達成目標】**

ジェンダーとは何かを学び、ジェンダーに関わる諸問題について様々な側面から検討します。なぜジェンダーが問題なのか、またジェンダー問題を生み出すその社会的背景について明らかにします。

**【授業内容・方法】**

講義形式。人数にもよるが、可能ならばゼミ形式。DVD(BD)も利用して理解の一助とします。

**【授業計画】**

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| ①ジェンダーとは           | ⑨男性問題の諸相       |
| ②家庭・家族とジェンダー       | ⑩社会保障とジェンダー    |
| ③労働とジェンダー          | ⑪災害とジェンダー      |
| ④教育とジェンダー          | ⑫近代日本のジェンダーの変遷 |
| ⑤地域・社会とジェンダー       | ⑬ジェンダー関連の法制度   |
| ⑥政治とジェンダー          | ⑭バックラッシュとその背景  |
| ⑦セクハラ、メステック・バイオレンス | ⑮BD (DVD)      |
| ⑧身体とジェンダー          |                |

**【テキスト】**

プリントを配布します。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

授業後に出席を兼ねて、数回質問や感想を書いてもらいます。これにより、皆さんの感じ方や理解度を把握し、次回以降の授業に生かしていきたいと思っています。

**【評価方法】**

期末レポート課題（80%）出席（20%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60190		健康と栄養	2	鈴木 道子	前期	

**【達成目標】**  
 ① 「健康」の概念と、健康を維持増進するための「栄養」の重要性を理解する。  
 ② 現在及び将来の実生活において、健康の維持増進に有用な食生活の実践方法を習得する。

**【授業内容・方法】**  
 健康と栄養の基礎的事項を学んだあと、栄養の過不足による生じる健康障害、特に生活習慣病等の疾病、健康の維持増進のために有用な食生活の実際等について学ぶ。なお、栄養と食に関する専門家である米沢栄養大学の教員を数回ゲストスピーカーに招き、食の実践についての理解をより深める。

**【授業計画】**

1. はじめに	6. 低栄養と健康	11. ライフステージごとの栄養 (1)
2. 栄養学の基礎と消化・吸収	7. 日本の食の歴史と地域性 (1)	12. ライフステージごとの栄養 (2)
3. 栄養と健康の関わり	8. 日本の食の歴史と地域性 (2)	13. ライフステージごとの栄養 (3)
4. 生活習慣病と栄養 (1)	9. 「おいしさ」と調理の基礎	14. たばこ・酒と健康
5. 生活習慣病と栄養 (2)	10. 食品の機能性と食品表示	15. 総括

**【テキスト】**  
 テキストは使用しない。毎回プリント等の資料を配付するのでファイルしておくこと。

**【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】**  
 自らの食生活を振り返りながら、主体的に授業に臨むこと。

**【評価方法】**  
 試験 (70%)、レポート (30%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60180		人間発達論	2	鈴木 一憲	前期	

**【達成目標】**  
 人間の発達を主な時期に区分してそれぞれの時期における心と体の特徴の理解を目標とする。

**【授業内容・方法】**  
 各時期における心と体の特徴と獲得しなければならない課題を明らかにし、障がいを受けた場合について事例を交えて説明する。

**【授業計画】**

① オリエンテーションに代えて 「アフリカ・コンゴのゴリラ孤児院におけるみなしゴリラの問題」	⑩思春期の特徴 思春期発来、性の分化とその障害、性同一性障害、摂食障害
② 成長、発育の概念と成長発育過程の時期区分 フロイトとエリクソン	⑪青年期の特徴 仲間体験とユースカルチャー
③④母体と胎性期の特徴 女性の体、性周期と妊娠、胎児の発生	⑫成人前期の特徴 ヤマアラシのジレンマ、モラトリアム ピーターパン症候群とシンデレラコンプレックス
⑤⑥新生児・乳児期の特徴 体の発達と疾病	⑬成人中期の特徴 加齢変化 (老化)
⑦⑧幼児期の特徴 自閉症、多動性注意欠陥障害	⑭成熟期の特徴 空の巣症候群、更年期障害
⑨ 学童期の特徴 小児肥満、栄養障害と心、不登校	⑮老年期の特徴 痴呆、ホスピス

**【テキスト】**  
 なし。プリントを用いる

**【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】**  
 私たちはたくさんの悩みに囲まれてストレスに満ちた生活を送っています。この多くは人間の発達上当たり前のことだったり、当たり前のことを克服できなかった為だったりします。人間の発達を理解することで、今より少しばかり強く生きていけるような気がします。本年度は小レポートを求め、講義内容と自分の体験との結びつきを考えてもらいたいと思っています。参考書として服部祥子著「生涯人間発達論」医学書院があります。

**【評価方法】**  
 期末レポート課題 (90%)、小レポート (10%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60200		芸術学	2	石澤 靖典	前期	
<b>【達成目標】</b>						
美術作品の見方や分析方法を学びます。美術が社会や歴史、文学をはじめとする他の芸術形式とどのような関係にあるかを理解し、作品に対して学問的にアプローチするための手法を身につけます。						
<b>【授業内容・方法】</b>						
前半ではおもに西洋の美術作品を例に挙げながら、様式論や図像学、心理学的アプローチなどの方法論を解説し、後半では作品分析を実践するための具体例を提示します。						
<b>【授業計画】</b>						
① ガイダンス ② 美術の歴史（概説） ③ 芸術の方法論 ④ 美術作品の分析						
<b>【テキスト】</b>						
とくに教科書は指定しません。参考書については随時授業中に紹介します。						
<b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>						
授業の内容について関心を引くテーマがあれば、自分なりに参考書を読むなどして、さらに知見を深めるとよいでしょう。						
<b>【評価方法】</b>						
筆記試験と授業への参加度により評価します。						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60210	60211	情報処理演習 I	2	鈴木 久美	前期	
<b>【達成目標】</b>						
主としてワープロソフトのワードの基本的操作を習得します。ワードが使えるようになったあとでプレゼンテーション用にパワーポイントの基本的操作を習得します。						
<b>【授業内容・方法】</b>						
講義では、学習テーマを設定し、操作方法を説明しながら一緒に操作練習をしたあと、学習テーマに沿った課題をこなすことで基本的操作を習得できるようにします。						
<b>【授業計画】</b>						
①ガイダンス ②パソコンの起動と終了・メール設定 ③パソコンの基本操作（タイピング）④パソコンの基本操作（日本語入力）・Word の基本操作 ⑤レイアウトと書式設定(1)（文字の修飾など）⑥レイアウトと書式設定(2)（罫線など） ⑦表の作成(1) ⑧表の作成(2)・レイアウトと書式設定(3)（ルビなど） ⑨課題(1)Word の基本操作 ⑩ビジネス文書(1)（社内文書） ⑪ビジネス文書(2)（社外文書） ⑫図の挿入 ⑬課題(2)ビジネス文書 ⑭パワーポイントの基本操作 ⑮課題(3)総合						
<b>【テキスト】</b>						
資料を適宜配布する。						
<b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>						
講義ではパソコンが苦手な人やあまり利用したことのない人を基準に授業を構築しているので、チャレンジしてみませんか？						
<b>【評価方法】</b>						
授業内課題（50%）、期末課題（50%）						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放										
60210	60212	情報処理演習 I	2	小池 隆太	前期											
<p><b>【達成目標】</b> パソコンを他の文房具と同じように使いこなす技術や能力（情報リテラシー）の基本を理解し習得します。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> この演習では、主としてワープロソフトの Microsoft Word の基本的操作を習得します。また、パワーポイントの基本操作を講義の後半に実施します。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1) パソコンの構成、起動と終了</td> <td>6) Word 文書のレイアウト</td> </tr> <tr> <td>2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作</td> <td>7) 図形描画</td> </tr> <tr> <td>3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト</td> <td>8) スタイル、文章校正、オートコレクト</td> </tr> <tr> <td>4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定</td> <td>9) 日商 PC 検定について</td> </tr> <tr> <td>5) メールソフトの基本操作</td> <td>10) パワーポイントの基本操作</td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b> なし。資料を適宜配布します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> 「コンピュータは苦手だ」という人の多くはキーボード・アレルギーにすぎません。タッチタイピング法さえ身に付けば、パソコンはぐっと身近なものになり、パソコンほど便利な道具は他にないことがよく分かるはずです。今やパソコンは計算機というよりもむしろ、高級機能付き文房具なのです。 なお、演習時間以外でも、タイピングの練習や予習、復習など、気軽にパソコンに触れて見てください。実際に色々試していくなかで、パソコンの基本が自然に身に付くはずですが、分かりやすい資料を作成していきたいと考えています。</p> <p><b>【評価方法】</b> 提出課題（75%）、授業への参加度（25%）</p>							1) パソコンの構成、起動と終了	6) Word 文書のレイアウト	2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作	7) 図形描画	3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト	8) スタイル、文章校正、オートコレクト	4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定	9) 日商 PC 検定について	5) メールソフトの基本操作	10) パワーポイントの基本操作
1) パソコンの構成、起動と終了	6) Word 文書のレイアウト															
2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作	7) 図形描画															
3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト	8) スタイル、文章校正、オートコレクト															
4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定	9) 日商 PC 検定について															
5) メールソフトの基本操作	10) パワーポイントの基本操作															

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放										
60210	60213	情報処理演習 I	2	清水 浩	前期											
<p><b>【達成目標】</b> パソコンを他の文房具と同じように使いこなす技術や能力（情報リテラシー）の基本を理解し習得します。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> この演習では、主としてワープロソフトの Microsoft Word の基本的操作を習得します。また、パワーポイントの基本操作を講義の後半に実施します。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1) パソコンの構成、起動と終了</td> <td>6) Word 文書のレイアウト</td> </tr> <tr> <td>2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作</td> <td>7) 図形描画</td> </tr> <tr> <td>3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト</td> <td>8) スタイル、文章校正、オートコレクト</td> </tr> <tr> <td>4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定</td> <td>9) 日商 PC 検定について</td> </tr> <tr> <td>5) メールソフトの基本操作</td> <td>10) パワーポイントの基本操作</td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b> なし。資料を適宜配布します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> 「コンピュータは苦手だ」という人の多くはキーボード・アレルギーにすぎません。タッチタイピング法さえ身に付けば、パソコンはぐっと身近なものになり、パソコンほど便利な道具は他にないことがよく分かるはずです。今やパソコンは計算機というよりもむしろ、高級機能付き文房具なのです。 なお、演習時間以外でも、タイピングの練習や予習、復習など、気軽にパソコンに触れて見てください。実際に色々試していくなかで、パソコンの基本が自然に身に付くはずですが、分かりやすい資料を作成していきたいと考えています。</p> <p><b>【評価方法】</b> 提出課題（75%）、授業への参加度（25%）</p>							1) パソコンの構成、起動と終了	6) Word 文書のレイアウト	2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作	7) 図形描画	3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト	8) スタイル、文章校正、オートコレクト	4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定	9) 日商 PC 検定について	5) メールソフトの基本操作	10) パワーポイントの基本操作
1) パソコンの構成、起動と終了	6) Word 文書のレイアウト															
2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作	7) 図形描画															
3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト	8) スタイル、文章校正、オートコレクト															
4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定	9) 日商 PC 検定について															
5) メールソフトの基本操作	10) パワーポイントの基本操作															

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60210	60214	情報処理演習 I	2	松下 幸生	前期	
<p><b>【達成目標】</b>            実用性の高い操作を含め、Word の基本的操作を習得します。また、後半 1 回から 2 回を Power Point の基本的操作の習得に割きます。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>            操作方法をスクリーンに投影しながら、演習講義を進めていきます。課題は講義直後、及び、講義終了直前に告知します。</p> <p><b>【授業計画】</b>            ①ガイダンス。②漢字変換とタイピング。③記号入力、文章入力、範囲指定、ショートカットキー。④文字装飾、箇条書き、及び、ページ設定。⑤表の作成と編集、文字列から表に変換。⑥コメントの作成と差し込み文書。⑦段組み、計算式の入力、及び、ワードアートの基本。⑧ワードアート、地図の作成、及び、スクリーンショットの活用と留意点。⑨スマートアートとグラフの編集。⑩Power Point の基本操作。⑪総合演習課題。</p> <p><b>【テキスト】</b>            資料を適宜配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>            筆記用具で書くよりも、Word 入力が楽と感じられるようになるう。</p> <p><b>【評価方法】</b>            課題 100%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放										
60210	60215	情報処理演習 I	2	藤本 勝成	前期											
<p><b>【達成目標】</b>            パソコンを他の文房具と同じように使いこなす技術や能力（情報リテラシー）の基本を理解し習得します。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>            この演習では、主としてワープロソフトの Microsoft Word の基本的操作を習得します。また、パワーポイントの基本操作を講義の後半に実施します。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1) パソコンの構成、起動と終了</td> <td>6) Word 文書のレイアウト</td> </tr> <tr> <td>2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作</td> <td>7) 図形描画</td> </tr> <tr> <td>3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト</td> <td>8) スタイル、文章校正、オートコレクト</td> </tr> <tr> <td>4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定</td> <td>9) 日商 PC 検定について</td> </tr> <tr> <td>5) メールソフトの基本操作</td> <td>10) パワーポイントの基本操作</td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b>            なし。資料を適宜配布します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>            「コンピュータは苦手だ」という人の多くはキーボード・アレルギーにすぎません。タッチタイピング法さえ身に付ければ、パソコンはぐっと身近なものになり、パソコンほど便利な道具は他にないことがよく分かるはず。今やパソコンは計算機というよりもむしろ、高級機能付き文房具なのです。            なお、演習時間以外でも、タイピングの練習や予習、復習など、気軽にパソコンに触れてみてください。実際に色々試していくなかで、パソコンの基本が自然に身に付くはず。分かりやすい資料を作成していきたいと考えています。</p> <p><b>【評価方法】</b>            提出課題（75%）、授業への参加度（25%）</p>							1) パソコンの構成、起動と終了	6) Word 文書のレイアウト	2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作	7) 図形描画	3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト	8) スタイル、文章校正、オートコレクト	4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定	9) 日商 PC 検定について	5) メールソフトの基本操作	10) パワーポイントの基本操作
1) パソコンの構成、起動と終了	6) Word 文書のレイアウト															
2) パソコンの基本操作、ブラウザの操作	7) 図形描画															
3) 日本語入力、キーボード入力練習ソフト	8) スタイル、文章校正、オートコレクト															
4) Word 基本操作、文字の修飾、編集、書式設定	9) 日商 PC 検定について															
5) メールソフトの基本操作	10) パワーポイントの基本操作															

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60220	60221	情報処理演習Ⅱ	2	藤本 勝成	後期	
<p><b>【達成目標】</b>  1. 表計算の三つの基本機能（集計、グラフ表示、簡易データベース）を習得する。  2. 関数の働きを理解して計算式を書き表すなど、考える力と実践的な処理能力を養う。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>  多くの例題や課題を自分の頭で考えながらこなしていくことで、表計算を実際の問題の処理に活用する能力を鍛える。</p> <p><b>【授業計画】</b>  (1)表計算の概念と基本操作                      (2)基本的な集計                                      (3)表のグラフ表示  (4)セルの参照方法                                      (5)計算式の見え方とコピー                      (6)簡易データベース機能  (7)別表の参照方法                                      (8)条件による2分岐・多分岐                      (9)条件付き集計  (10)クロス集計と分析                                      (11)マクロ機能の使い方</p> <p>※上記の番号付き項目は演習に盛り込む要素を列挙したもので、時間的順序を表すものではない。</p> <p><b>【テキスト】</b>  資料を適宜配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>  毎回配布する例題に初めて登場する機能や関数については、授業の冒頭で詳しく説明する。それ以降に同じ機能や関数が出てきたら即応用できるよう、一回一回の授業にしっかり取り組んでほしい。</p> <p><b>【評価方法】</b>  提出課題（75%）、授業への参加度（25%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60220	60222	情報処理演習Ⅱ	2	伊豆田 義人	後期	
<p><b>【達成目標】</b>  この授業では、表計算の基本から活用までについて学習する。  1. 表計算の基本機能（集計、グラフ表示、簡易データベース）を習得する。  2. データの活用方法</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>  授業は二部構成である。前半は＜表計算の基本＞で、後半は、その応用にあたる＜データの活用＞である。</p> <p><b>【授業計画】</b>  (1)基本操作（データ入力）                      (2)絶対と相対参照                                      (3)罫線、演算  (4)関数    (5)分岐処理    (6)条件付き書式、フィルター  (7)集計    (8)グラフ    (9)ABC分析、開発ツール  (10)バラツキの分析                                      (11)様々な分析    (12)統計分析の基本  (13)シナリオ分析                                      (14)ソルバーによる分析                                      (15)シミュレーションによる分析</p> <p><b>【テキスト】</b>  資料を適宜配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>  この授業では、＜ソフトの操作＞と＜データの活用＞の両方を学習する。しかし、＜活用＞を重視しているため、前期の授業等でパソコンの基本的な操作や文書作成ソフトを学習していない方は、＜ソフトの操作＞がスムーズにできるように、毎回の課題・宿題にしっかり取り組んでほしい。</p> <p><b>【評価方法】</b>  期末課題40%、定期課題40%、授業への参加度20%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60220	60223	情報処理演習Ⅱ	2	西川 友子	後期	

**【達成目標】**

1. 表計算ソフトを使う上で必須の基本機能(表計算、グラフ作成、関数等)を習得します。
2. 特に表計算ソフトの特徴である「関数」を理解し、事務処理能力と考える力の向上を図ります。

**【授業内容・方法】**

オフィスツールとして最も有用な表計算ソフトの使い方や機能を演習形式で習得し、全員が大学での活動に必要なレベルに到達するとともに将来のビジネスパーソンとしての素養の基礎を身に付けます。

**【授業計画】**

- |           |           |       |
|-----------|-----------|-------|
| ①ガイダンス、   | ⑦～⑩関数     | ⑮期末課題 |
| ②基本機能     | ⑪簡易データベース |       |
| ③～④表の作成   | ⑫～⑬集計と分析  |       |
| ⑤～⑥グラフの作成 | ⑭まとめ      |       |

**【テキスト】**

講義で使用する資料は適宜配布します。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

新しい知識や技術の習得は、毎回の授業(演習)を積み重ねていくことにより達成されるものです。授業を欠席しないことはもとより、授業内容を理解し習得できるよう留意して臨んで下さい。

**【評価方法】**

授業参加態度：20%、授業内課題：40%、期末課題：40%

※他人へ迷惑をかける、演習に関係ない事を行う、居眠り等、演習進行を妨げる行為は減点対象です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60220	60224	情報処理演習Ⅱ	2	松下 幸生	後期	

**【達成目標】**

実用性の高い操作を含め、Excelの基本的操作を習得します。

**【授業内容・方法】**

操作方法をスクリーンに投影しながら、演習講義を進めていきます。課題は講義直後、及び、講義終了直前に告知します。

**【授業計画】**

- ①ガイダンス。②範囲選択と文字列の入力。③移動、複写、貼り付け、行列の挿入と削除、オートフィル。④四則演算、達成率、累計、前日比、伸び率、絶対参照、相対参照。関数式(sum. average. max. min. count. counta)。⑤関数式(round. roundup. rounddown. mod. if.)。⑥表の編集、スタイル、条件付き書式。⑦ハイパーリンク、グラフの作成1。⑧グラフの作成2。⑨フィルター、テキストファイルをExcelで開く、ピボットテーブル。⑩関数式(vlookup. datedif.)。⑪総合演習。

**【テキスト】**

資料を適宜配布する。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

電卓やそろばんを使うよりも、Excel計算が楽と感じられるようになろう。

**【評価方法】**

課題 100%



科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60220	60225	情報処理演習Ⅱ	2	清水 浩	後期	

**【達成目標】**

1. 表計算の三つの基本機能（集計、グラフ表示、簡易データベース）を習得する。
2. 関数の働きを理解して計算式を書き表すなど、考える力と実践的な処理能力を養う。

**【授業内容・方法】**

多くの例題や課題を自分の頭で考えながらこなしていくことで、表計算を実際の問題の処理に活用する能力を鍛える。

**【授業計画】**

- (1) 表計算の概念と基本操作、(2) 基本的な集計、(3) 表のグラフ表示、(4) セルの参照方法、(5) 計算式の書き方とコピー、(6) 簡易データベース機能、(7) 別表の参照方法、(8) 条件による2分岐・多分岐、(9) 条件付き集計、(10) クロス集計と分析
- (11) マクロ機能の使い方

※上記の番号付き項目は演習に盛り込む要素を列挙したもので、時間的順序を表すものではない。

**【テキスト】**

資料を適宜配布する。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

毎回配布する例題に初めて登場する機能や関数については、授業の冒頭で詳しく説明する。それ以降に同じ機能や関数が出てきたら即応用できるよう、一回一回の授業にしっかり取り組んでほしい。

**【評価方法】**

提出課題 75%、授業への参加度 25%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60230	60231	情報処理演習Ⅲ	2	西川 友子	前期	

**【達成目標】**

1. 情報処理演習Ⅰ・Ⅱで身に付けた基礎的な文書作成能力や表計算能力の定着を図ります。
2. ビジネスシーン等を意識して毎回の課題を行うことで、「情報リテラシー」を磨きます。

**【授業内容・方法】**

情報処理演習Ⅰ・Ⅱに引き続き、パソコンを利用した情報利活用について、毎回課題形式で行い実践的に演習していくことにより将来のビジネスパーソンとしての素養の基礎を身に付けます。

**【授業計画】**

- |                  |                     |                       |
|------------------|---------------------|-----------------------|
| ① ガイダンス          | ⑤ 総合実践 4 (家計簿)      | ⑨ 総合実践 8 (グラフ入り文書)    |
| ② 総合実践 1 (報告書)   | ⑥ 総合実践 5 (アルバイト勤務表) | ⑩～⑪ 総合実践 9 (店舗案内スライド) |
| ③ 総合実践 2 (案内文書)  | ⑦ 総合実践 6 (来場者分析資料)  | ⑫～⑬ 総合実践 10 (防犯スライド)  |
| ④ 総合実践 3 (募集チラシ) | ⑧ 総合実践 7 (販売状況分析資料) | ⑭ まとめ ⑮ 期末課題          |

**【テキスト】**

講義で使用する資料は適宜配布します。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

情報処理演習Ⅰ・Ⅱでの内容は、既知のものとして演習を進めます。もし苦手分野がある場合には、この機会に復習を重ねて取りこぼしのないようにして下さい。

**【評価方法】**

授業参加態度：20%、授業内課題：40%、期末課題：40%

※他人へ迷惑をかける、演習に関係ない事を行う、居眠り等、演習進行を妨げる行為は減点対象です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60230	60232	情報処理演習Ⅲ	2	伊豆田義人	前期	

**【達成目標】**

この授業では、情報処理演習ⅠとⅡで身につけた文書作成能力と表計算能力のレベルアップをはかる。ここでは、「日商 PC 検定受験」に対応できるようにするほか、パソコンで「簿記」の仕組みを理解できるように数多くの問題を作成し、実務をこなす能力を向上する。

**【授業内容・方法】**

前半では、「文章作成」と「データ活用」の検定で求められるスキルを確認し、後半では、パソコン上で表計算を活用しながら「簿記」の仕組みについて学習する。後半の時間にも検定に対応できるように前半の部分を繰り返す。

**【授業計画】**

- 〈前半〉 「文書作成」と「データ活用」の課題  
 〈後半〉 表計算での「簿記」の課題

**【テキスト】**

資料を適宜配布する。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

この演習科目では、ワープロや表計算の基本的な技能は習得済みであることを前提としている。この点に注意して受講してほしい。

**【評価方法】**

期末課題 40%、定期課題 40%、授業への参加度 20%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60310		英語一	2	横山 利夫	前期	

**【達成目標】**

基本的な英文法を理解し、やさしい英語で書かれた文章を理解できるようになること。

**【授業内容・方法】**

英語が得意でない学生を対象にした内容です。しかし、毎回予習は必要です。興味深いトピックについて書かれたやさしい文章を読んで、その中で用いられている文法事項を復習し、練習問題によって内容理解を確認します。

**【授業計画】**

テキストは 22 のユニットからなります。

- 1 Getting into Hot Water 2 Tips for University Students 3 What Happens to Our Trash?  
 4 To Your Health 5 Hello Cutie などです。

毎時間、1 ユニットと次のユニットの半分くらい進みます。

**【テキスト】**

Robert Hickling, 市川泰弘編 Reading Sense 金星堂 2000 円＋税

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

出席を重視します。予習をして、どこが理解できないかをはっきりさせて授業に臨むこと。

**【評価方法】**

試験 2 回 50 点、出席 (30 点 2/3 以上の出席 1 回欠席 6 点減点)、積極的な授業参加 (20 点)。  
 なお、受講受理期間中も出欠を取ります。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60320		英語二	2	北山 長貴	後期	

**【達成目標】**

1. 初級英文法の再確認をすること。
2. 基礎的な英語読解力をつけること。

**【授業内容・方法】**

英語が苦手だけどチャレンジしたい学生向け授業とします。テキストの構成は、前半が文法説明とその練習問題、後半はリーディングとなっています。授業ではまず、文法説明と練習問題を1回の授業で3課進みます。その後の授業で英文読解をします。解答はパワーポイントで提示します。予習が前提の授業となります。練習問題の解答は皆さんに答えてもらいます。ノートを1冊用意してください。

**【授業計画】**

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. はじめに                | 2. 名詞、冠詞、代名詞 (1)      |
| 3. 代名詞 (2)、基本時制、進行形    | 4. 完了形、助動詞 (1) (2)    |
| 5. 受動態 (1) (2)、不定詞 (1) | 6. 不定詞 (2)、分詞 (1) (2) |
| 7. 動名詞 (1) (2)、形容詞     | 8. 副詞、比較 (1) (2)      |
| 9. 前置詞、関係詞 (1) (2)     | 10. 仮定法 (1) (2)       |
- 11～15. Short Readings を毎回2ユニット読みます。

**【テキスト】**

『読解力をみがく基本英文法』(朝日出版) 1600円(税別) ISBN: 978-4-255-15560-9

**【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】**

解答の提示はPower Pointを使います。辞書を教室に持ってくるように(電子辞書も可)。

**【評価方法】**

出席30%と筆記試験70%。毎回出席を取ります。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60330		英語三	2	横山 利夫	前期	

**【達成目標】**

この授業では読解力向上に主眼を置く。

**【授業内容・方法】**

テキストの文章には重要な語彙、イディオム、構文などが適切にちりばめられて、多様性に富んだ英文が学べるように配慮されている。テキストでは環境問題や文化、教養、健康、そしてビジネスをテーマとし、それに関連した題材が選ばれている。授業では全訳はしない。各受講者が予習して英文解釈に自信のない箇所を訳してもらい、授業担当者が構文や文法などについて説明し、誤りに気づいてもらうようにする。

**【授業計画】**

初回は授業の進め方に関するガイダンス、2回目以降は毎回以下にある一つのユニットを扱う: 美空ひばり、荒川静香、櫻井よしこ、田口荘、歴史遺産(平泉)、ハイテク米づくり、エコサークル、環境持続型製紙、グルメ冷凍食品、アンチ・キャンサーダイエット、郵政民営化、防災、日本中央競馬会、システム・インテグレーション、NHK、バイオエタノール

**【テキスト】**

編著者 クリストファー・ブルスミス他

ECO-INNOVATION AND PROSPERITY(エコイノベーションと繁栄) 南雲堂

**【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】**

毎回予習が必要です。予習をして、どこがわからないかを受講者に授業で言ってもらい、その箇所を重点的に説明します。予習では最初本文を辞書なしで読み、わからない部分をチェックし、それから辞書などで調べること、そして、何度も音読することです。

**【評価方法】**

授業回数の3分の2以上の出席が条件で、欠席1回につき5点減点。受講受理期間も出欠を取ります。試験2回(60点)、出席点(20点)、授業への積極的な参加(20点)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60340		英語四	2	渡邊真由美	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 映画を見ながら、リスニング力をつける。 アメリカ社会に対する理解を深める。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> Frank Capra 監督作品“It’s A Wonderful Life!”「素晴らしき哉、人生」のシナリオを映画を見ながら学習していきます。シナリオの指定箇所を事前に読んできてもらいます。授業では映画を見て、英語の聞き取りを行い、訳をつけていきます。さらに、字幕の日本語との違いを通して、わかりやすい日本語にする工夫も考えていきます。</p> <p><b>【授業計画】</b> 第1回：授業の進め方・評価の方法についての説明 第2～15回：シナリオ・映画を活用して進めていきます。</p> <p><b>【テキスト】</b> Frank Capra 他 It’s Wonderful Life! 「素晴らしき哉、人生！」開拓社出版。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> 1946年に公開されながら、現在でも人気のある映画です。アメリカの良心とも評される監督・俳優による映画です。半世紀以上が経過しても人気があるのは、アメリカ人が求めているものが描かれているからだと思います。それはどのようなものなのかを考えながら読み・鑑賞してもらいたいと思います。</p> <p><b>【評価方法】</b> 聞き取りの小テスト 50% 試験 50%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60350		英語五	2	小林 亜希	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 1. 平易な英文で書かれたお伽話を読むことによって、基礎的な語彙力と文法力を身につけ、読解能力の基礎を涵養する。 2. お伽話の読解を通じて、比較文化論の基礎を学ぶ。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 比較的平易な英語で書かれたお伽話を一文ずつ訳読しながら進めます。読解に必要な文法事項は適宜詳しく解説します。また、お伽話の読解を通じて、文化研究（カルチュラル・スタディーズ）の立場から文化を分析する手法を解説します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①授業ガイダンス ②英文読解の基礎1 ③英文読解の基礎2 ④ペローの「赤ずきん」 ⑤獵師の登場 ⑥グリム兄弟による赤ずきんの「救出」？ ⑦「金ずきん」と「緑ずきん」 ⑧お婆ちゃんのお話し ⑨「白雪姫」—ジェンダーの寓話 ⑩英語文化の基底としてのマザー・グース ⑪笛吹き男の謎 ⑫浦島物語とケルト伝説 ⑬ガラスの靴は木靴だった？ ⑭退屈した悪い子たちのためのよい子のお話 ⑮退屈した悪い子たちのための良い子のお話 ※進度は受講者の学習状況に応じて変わることがあります。</p> <p><b>【テキスト】</b> 原英一著 『お伽話による比較文化論』松柏社、1997年 1944円（税込）</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> ・基本的な文法事項も詳しく解説し、できるだけ丁寧に読み進めたいと思います。 ・辞書を必ず用意し、毎回十分な予習を行って授業に臨んでください。</p> <p><b>【評価方法】</b> 試験（100%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60360		英語六	2	阿部 隆夫	前期	

**【達成目標】**

TOEIC や TOEFL で高得点をとる方法を伝授する。異文化間コミュニケーション能力を育成する

**【授業内容・方法】**

TOEIC の聞き取り問題と読解問題を毎回 15 問程度ずつ練習しながら TOEIC の特徴を説明し高得点の為の練習方法を紹介する。各回の初めに社会言語学に基づいた異文化間コミュニケーション事例分析をする。

**【授業計画】**

① 練習テスト 1: No. 1 から No. 5 まで, No. 153 から No. 154 まで, ② 練習テスト 1: 6 から 10 まで, 155 から 160 まで, ③練習テスト 1: 11 から 20 まで, 161 から 165 まで, ④ 練習テスト 1: 21 から 30 まで, 166 から 171 まで, ⑤練習テスト 1: 31 から 40 まで, 172 から 175 まで, ⑥練習テスト 1: 41 から 46 まで, 176 から 180 まで, ⑦練習テスト 1: 47 から 52 まで, 181 から 185 まで, ⑧練習テスト 1: 53 から 58 まで, 186 から 190 まで, ⑨練習テスト 1: 59 から 64 まで, 191 から 195 まで, ⑩練習テスト 1: 65 から 70 まで, 196 から 200 まで, ⑪練習テスト 1: 71 から 76 まで, 練習テスト 2: 153 から 154 まで, ⑫練習テスト 1: 77 から 82 まで, 練習テスト 2: 155 から 156 まで, ⑬練習テスト 1: 83 から 88 まで, 練習テスト 2: 157 から 158 まで, ⑭練習テスト 1: 89 から 94 まで, 練習テスト 2: 159 から 161 まで, ⑮練習テスト 1: 95 から 100 まで, 練習テスト 2: 162 から 164 まで。

他、毎回冒頭に『異文化間英語コミュニケーション』の練習問題を扱う（事例 1 から事例 14 まで）

**【テキスト】**

ヒロ前田著『TOEIC テスト究極の模試 600 問』（アルク 2012）； タカオ・アベ著『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社, 2011）

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

予習よりも復習が重視され、理解できなかった箇所に関しては次回に適時説明がされる。

**【評価方法】**

平常の音読練習課題 15%, 提出課題 15%, 定期試験 70%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60370		英語七	2	松井 真人	後期	

**【達成目標】**

この授業の達成目標は、高校までに学んだ基礎的な英文法を理解し、平易な英語を読むことができるようにすることである。

**【授業内容・方法】**

毎回、担当教員がテキストに沿って文法項目の解説をした後で、受講生は練習問題に取り組む。理解を深めるために視聴覚教材も用いる。

**【授業計画】**

①オリエンテーション ②③品詞 ④⑤時制・進行形 ⑥⑦基本 5 文型 ⑧現在完了  
⑨過去完了・未来完了 ⑩⑪法助動詞 ⑫⑬仮定法 ⑭関係節 ⑮関係副詞  
時間があれば、分詞構文、冠詞、不定詞も学習する。

**【テキスト】**

藤田直也（著）『クラスで読む英文法』朝日出版社 1,800 円（税別）

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

できるだけ丁寧に解説していくが、分からない点があれば遠慮なく質問してほしい。また、予習と復習をしっかりやってほしい。TOEIC や英検などの検定試験や編入学試験を受験する人は、英文法をしっかり勉強することをお勧めする。

**【評価方法】**

授業への参加度（3 分の 2 以上の出席が単位取得のノルマ）（約 25%）、学期末試験（75%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60380		英語八	2	太田 裕子	前期	
<p><b>【達成目標】</b> 英語と異文化コミュニケーションを同時に学習します。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 異文化コミュニケーションには言葉の壁だけでなく、文化的な見えない壁も存在します。コミュニケーション・ギャップの実例を英語で読み、異文化コミュニケーションにおける問題点を理解すると同時に、読解力の向上と語彙増強を目指します。</p> <p><b>【授業計画】</b> 教科書のパート I (非言語コミュニケーション) を中心に取り組みます。和訳担当者を決めて発表して頂きます。(発表者はクラス全体に聞こえるように声の大きさやペースに配慮しましょう。) 授業中にペアワークなどで音読をする時間や自分の意見をグループ内で発表する時間を設ける予定です。</p> <p><b>【テキスト】</b> What Do You Mean? コミュニケーション・ギャップと異文化理解 金星堂 (2013) 八代京子・池口セシリア・坂本ロビン著</p> <p><b>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】</b> やむを得ない理由があつての遅刻や欠席については、成績評価において不利にならないよう配慮するので、必ず連絡をしましょう。予習としてノートに英文を2行おき書き写して書くことをお勧めします。単語の意味や、文法事項などは授業をよく聞いて書き込んでいきましょう。</p> <p><b>【評価方法】</b> 授業参加 (アクティビティへの参加など 20 点)、レポート・課題 (30 点)、学期末試験 (50 点)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60390		英語九	2	金子 淳	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 1. リーディングの総合的な力を養成することを目標とします。 2. 環境問題、社会問題への理解を深めることをねらいとします。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 英文の速読・精読・パラグラフリーディングなど、リーディングの総合的な力を養成します。リーディングの力を補完するために、場合によってはリスニングを行うことも考えています。内容の理解を深めるために、適宜、ビデオ等の映像を使用することも考えています。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①講義の進め方とガイダンス                      ②Unit 1 Longevity of the Hunza フンザの長寿 ③Unit 2 Diabetes 糖尿病                              ④Unit 3 Walking for Health 健康のための散歩 ⑤Unit 4 Coping with Allergies アレルギーの対処 ⑥Unit 5 Genetically Modified Foods 遺伝子組換え食品 ⑦Unit 6 Stress ストレス                              ⑧Unit 7 Vegetarianism 菜食主義 ⑨Unit 8 Renewable Energy 再生可能なエネルギー      ⑩Unit 9 Japan's Garbage 日本の生ゴミ ⑪Unit 10 World Water Crisis 世界の水不足                      ⑫Unit 11 Global Warming 地球の温暖化 ⑬Unit 12 Deforestation 森林破壊                              ⑭Unit 13 Ozone Layer オゾン層 ⑮Unit 14 Acid Rain 酸性雨                              授業のまとめ</p> <p><b>【テキスト】</b> 染矢正一 著/ Fred Ferrasci 著/ Paul Murray 著 ヘルス・アンド・エコロジー Health and Ecology 判型 B5 判 ページ数 72 頁 課数全 14 課 定価 1,785 円(本体 1,700 円+税) ISBN 978-4-384-33386-2 C1082 発行日 2008/02/20</p> <p><b>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】</b> 語学の勉強は、予習と復習が大事です。必ず授業の前は予習し、授業の後は復習をしてください。</p> <p><b>【評価方法】</b> 複数回の小テスト (40%)、レポート等 (40%)、授業への参加度 (20%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60400		英会話A	2	Mony Tavakoli	前期	
<p><b>【達成目標】</b> The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English.</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b> In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p><b>【テキスト】</b> There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.</p> <p><b>【評価方法】</b> 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60410		英会話B	2	Mony Tavakoli	前期	
<p><b>【達成目標】</b> The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English.</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b> In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p><b>【テキスト】</b> There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.</p> <p><b>【評価方法】</b> 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60420		英会話 C	2	Mony Tavakoli	後期	

**【達成目標】**

The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English.

**【授業内容・方法】**

**【授業計画】**

In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have. The contents of this class are different from English Conversation A and English Conversation B.

**【テキスト】**

There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.

**【評価方法】**

50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60430		英会話 D	2	Mony Tavakoli	後期	

**【達成目標】**

The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English.

**【授業内容・方法】**

**【授業計画】**

In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have. The contents of this class are different from English Conversation A and English Conversation B.

**【テキスト】**

There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.

**【評価方法】**

50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.



科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60450		海外語学実習	3	英語英文学科 担当教員	集中	

**【達成目標】**  
英語圏におけるホームステイと語学学校での研修を通して、現地の人々と英語で交流し、異文化経験を積むこと。

**【授業内容・方法】**  
事前実習指導の後、実習生は USA に渡航します。ホストファミリー宅に滞在しながら大学付属語学コースで授業を受けることによって、英語コミュニケーション練習をします。また、課外活動を通じて、異文化経験を積みます。  
期間：2 週間、参加費用：35 万円程度(ランチ代と保険代以外、交通費から食費・宿泊費までほぼ全て込み)  
場所：Spring International Language Center, Arapahoe Community College (Littleton, Colorado)

**【授業計画】**  
今年度は 9 月にアメリカでの実習を予定しています。英語英文学科の引率教員が渡航前に事前実習講座を 10 時間実施し、渡航前の準備、実技準備について説明します。一回目の説明会は、4 月上旬とし、その後毎月第 4 金曜日午後に事前指導を予定しています(実習生の時間割に合わせて微調整)。

**【テキスト】**  
資料と教材を事前指導および現地校にて適宜配布します。

**【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】**  
学科を問わず事前指導を無事受講した者は参加可能です。  
この実習を英語コミュニケーション学習のチャンスとしてください。  
非英語話者に慣れた人々がホストファミリーを担当していて安心です。  
安全、円滑な実習実現のため、最終的に渡航できるのは、やむを得ない理由の場合を除き、毎回の事前指導講座に出席した者とします。

**【評価方法】**  
渡航前の事前指導への参加(30%)、必要準備書類の提出(20%)、現地での活動状況(50%)。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60460	60461 ~62	フランス語一	2	高橋 梓	前期	

**【達成目標】**  
1. フランス語の日常会話を中心に、基礎的な文法や表現を習得すること。  
2. フランス語の理解力を高めると同時に、フランス文化についての知識を深めること。

**【授業内容・方法】**  
フランス語を初めて学ぶ学生向けの授業です。パリの料理学校に留学した女性を主人公にした教科書で、フランスでの生活や料理に関する様々な表現を勉強します。教科書と付属 CD を利用し、日常会話と文法を総合的に学びましょう。必要に応じてフランスの映画、楽曲などを使用し、会話の応用力を高めていきます。

**【授業計画】**  
基本的にはテキストの構成通りの進行ですが、進度は受講者の理解度に合わせ調整します。補足資料や練習問題などを配布することがあります。前期では、第 3 課まで進む予定です。  
Leçon 0: アルファベ、綴り字の読み方  
Leçon 1: フランス語での挨拶、主語人称代名詞、重要動詞 être  
Leçon 2: フランス語での質問、名詞の性・数、形容詞  
Leçon 3: フランス語での好き嫌いの表現、第一群規則動詞の活用、疑問文  
フランス社会に関する語彙：フランス文化圏の食べ物について

**【テキスト】**  
藤田裕二、東海麻衣子『Tarte Tatin』(タルト・タタン)、駿河台出版社、2300 円

**【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】**  
フランス語の習得には自主的な学習が欠かせません。授業内容はしっかりと復習するようにしてください。自宅では付属 CD でのシャドーイングを徹底し、フランス語の発音に慣れるようにしましょう。

**【評価方法】**  
期末試験の結果(50%)、授業への参加度(20%)、課題提出(30%)の三項目によって評価を行います。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60470	60471 ~72	フランス語二	2	高橋 梓	後期	
<p><b>【達成目標】</b>  1. フランス語の日常会話を中心に、基礎的な文法や表現を習得すること。  2. フランス語の理解力を高めると同時に、フランス文化についての知識を深めること。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>  「フランス語一」の履修学生を対象にした授業です。前期に引き続き、教科書 (Tarte Tatin) と付属 CD で日常会話と文法を勉強しましょう。必要に応じてフランスの映画、楽曲などを使用し、会話の応用力を高めていきます。</p> <p><b>【授業計画】</b>  前期の授業の続きを行います。今学期も、進度は受講者の理解度に合わせ調整します。補足資料や練習問題などを配布することがあります。後期では、第6課まで進む予定です。  Leçon 4 : フランス語での注文の仕方、否定文、重要動詞 avoir  Leçon 5 : フランス語での料理の表現、近接未来、重要動詞 faire  Leçon 6 : フランス語での買い物の仕方、所有形容詞、「～できる」という表現  フランス社会に関する語彙：マルシェ (市場) の商品について</p> <p><b>【テキスト】</b>  藤田裕二、東海麻衣子『Tarte Tatin』(タルト・タタン)、駿河台出版社、2300円</p> <p><b>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】</b>  フランス語の習得には自主的な学習が欠かせません。授業内容はしっかりと復習するようにしてください。自宅では付属 CD でのシャドーイングを徹底し、フランス語の発音に慣れるようにしましょう。</p> <p><b>【評価方法】</b>  期末試験の結果 (50%)、授業への参加度 (20%)、課題提出 (30%) の三項目によって評価を行います。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60480		フランス語三	2	高橋 梓	前期	
<p><b>【達成目標】</b>  1. フランス語の日常会話を中心に、基礎的な文法や表現を習得すること。  2. フランス語の理解力を高めると同時に、フランス文化についての知識を深めること。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>  前年度「フランス語一、二」を履修した学生が対象です。教科書と付属 CD を利用し、文法を中心にした授業を行います。必要に応じてフランスの映画、楽曲などを使用し、会話の応用力を高めていきます。</p> <p><b>【授業計画】</b>  前年度の授業の続きを行います。今学期も、進度は受講者の理解度に合わせ調整します。補足資料や練習問題などを配布することがあります。後期では、第8課まで進む予定です。  前年度の復習 (Leçon 0~5)  Leçon 6 : 時間の表現、疑問文、命令文  Leçon 7 : フランス語の過去形 (複合過去)  Leçon 8 : 直接目的語 (～を)・間接目的語 (～に、～に対して) の表現など</p> <p><b>【テキスト】</b>  フランソワ・セール、丸川誠司、『Tome Un』(トーン・アン)、第三書房、2200円</p> <p><b>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】</b>  フランス語の習得には自主的な学習が欠かせません。授業内容はしっかりと復習するようにしてください。自宅では付属 CD でのシャドーイングを徹底し、フランス語の発音に慣れるようにしましょう。</p> <p><b>【評価方法】</b>  期末試験の結果 (50%)、授業への参加度 (20%)、課題提出 (30%) の三項目によって評価を行います。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60490		フランス語四	2	高橋 梓	後期	

**【達成目標】**

1. フランス語の日常会話を中心に、基礎的な文法や表現を習得すること。
2. フランス語の理解力を高めると同時に、フランス文化についての知識を深めること。

**【授業内容・方法】**

「フランス語三」を履修した学生が対象です。教科書と付属 CD を利用し、文法を中心にした授業を行います。必要に応じてフランスの映画、楽曲などを使用し、会話の応用力を高めていきます。

**【授業計画】**

前期の授業の続きを行います。今学期も、進度は受講者の理解度に合わせ調整します。補足資料や練習問題などを配布することがあります。後期では、第 10 課まで進む予定です。その後は巻末の練習問題で読解力・表現力の向上を目指します。

Leçon 9 : 代名動詞を用いた表現など

Leçon 10 : 比較級・最上級の表現、高度な疑問表現 / フランス語の関係代名詞、単純未来、半過去など

**【テキスト】**

フランソワ・セール、丸川誠司、『Tome Un』（トーン・アン）、第三書房、2200 円

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

フランス語の習得には自主的な学習が欠かせません。授業内容はしっかりと復習するようにしてください。自宅では付属 CD でのシャドーイングを徹底し、フランス語の発音に慣れるようにしましょう。

**【評価方法】**

期末試験の結果（50%）、授業への参加度（20%）、課題提出（30%）の三項目によって評価を行います。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60500	60501 ～02	中国語一	2	齋藤 知広	前期	

**【達成目標】**

中国語の基礎力を養成することを目的とする。

**【授業内容・方法】**

**【授業計画】**

中国語の発音、ローマ字表記システムであるピンイン、および挨拶など簡単な日常会話を学び、中国語の基礎の習得を目指す。また、中国の文化・社会についても随時紹介していく。

〔講義スケジュール〕

第 1 回 ガイダンス

第 2～5 回 発音とピンイン

第 6～14 回 挨拶・お詫びなどの基本的な会話表現

第 15 回 これまでのまとめ

**【テキスト】**

開講時に指定。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

語学の学習で重要なのは声を出すこと。授業では、恥ずかしがらずに大きな声を出しましょう。

また、予習・復習をすれば、授業が楽しくなります。

**【評価方法】**

授業での発言、および期末の筆記試験をもとに評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60500	60503 ~04	中国語一	2	解 澤春	前期	

**【達成目標】**

1. 中国語の発音の仕組みについて一通り理解し、正確に発音できるようになります。
2. 中国語の基本文型および常用される語彙を身につけます。

**【授業内容・方法】**

本授業は、主に中国語の発音、基礎文法と基本文型を学びます。教材に提示された単語や文型、文法ポイントおよび本文の説明をします。重点的に応用練習を行います。

**【授業計画】**

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 授業の進め方とガイダンス | 4. 平叙文、疑問文、否定文    |
| 2. 発音・声調        | 5. 動詞が述語になる文      |
| 3. 中国語でのあいさつ    | 6. 中国語で自己紹介をしてみよう |

**【テキスト】**

陳淑梅・劉光赤 共著『しゃべっていいとも中国語』（朝日出版社、CD付き）2,300円（税別）  
辞書・参考書は開講時に紹介します。その他適宜資料をプリントして補充します。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

語学は繰り返しと積み重ねが大切です。毎回十分な予習を行い、新しい単語を調べ、文法事項に目を通し、テキスト付録のCDを活用して本文を何度も音読してみます。わからない発音や文法事項は積極的に質問します。授業で習った内容が頭に残っているうちに復習します。

今年度も引き続きはっきりと伝わるように発声や表現を工夫したいと思っています。

**【評価方法】**

授業への参加度・授業での発言・小テスト（50%）、期末試験（50%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60510	60511 ~12	中国語二	2	齋藤 知広	後期	

**【達成目標】**

「中国語一」での内容をふまえ、より高度な文法事項を学ぶ。

**【授業内容・方法】**

**【授業計画】**

講義スケジュール

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 第1回 ガイダンス           | 第2回 是の用法「AはBです」         |
| 第3回 指示語「これ・あれ・どれ」   | 第4回 形容詞述語文「Aは（とても）Bです」  |
| 第5回 否定文「AはBではない」    | 第6～8回 疑問文「AはBですか」       |
| 第8回 有と在の用法「AはBにいます」 | 第10～12回 さまざまな疑問詞「だれですか」 |
| 第13回 前置詞「私は駅に行きます」  | 第14回 助動詞「中国語が話せます」      |
| 第15回 これまでのまとめ       |                         |

**【テキスト】**

開講時に指定。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

語学は暗記が必要。復習をして次の授業の準備をする習慣を身につけましょう。

**【評価方法】**

授業での発言、および期末の筆記試験をもとに評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60510	60513 ~14	中国語二	2	解 澤春	後期	

**【達成目標】**

1. 「中国語一」の目標を深化させながら、中国語を学習するための基礎を確立します。
2. 簡単な中国語でコミュニケーションがとれるようになります。

**【授業内容・方法】**

本授業は、さまざまな場面で使える中国語を学びます。中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって、中国語に対する理解を深めます。教材に提示された単語や文型、文法ポイントおよび本文の説明をします。重点的に応用練習を行います。

**【授業計画】**

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1. 形容詞が述語になる文      | 4. 動作の完了、状態の変化を表す助詞“了” |
| 2. 年齢・時刻・時間の長さの言い方 | 5. 助動詞の用法              |
| 3. 前置詞の使い方         | 6. 動作行為の進行を表す表現        |

**【テキスト】**

陳淑梅・劉光赤 共著『しゃべっていいとも中国語』（朝日出版社、CD付き）2,300円（税別）  
辞書・参考書は開講時に紹介します。その他適宜資料をプリントして補充します。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

語学は繰り返しと積み重ねが大切です。毎回十分な予習を行い、新しい単語を調べ、文法事項に目を通し、テキスト付録のCDを活用して本文を何度も音読してみます。わからない発音や文法事項は積極的に質問します。授業で習った内容が頭に残っているうちに復習します。

今年度も引き続きはつきりと伝わるように発声や表現を工夫したいと思っています。

**【評価方法】**

授業への参加度・授業での発言・小テスト（50%）、期末試験（50%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60520		中国語三	2	齋藤 知広	前期	

**【達成目標】**

「中国語一」・「中国語二」で学んだ基礎を踏まえて、実践的な中国語能力の習得を目指す。

**【授業内容・方法】**

**【授業計画】**

[講義スケジュール]

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 第1回 ガイダンス       | 第2・3回 基礎事項の確認   |
| 第4・5回 様々な挨拶表現   | 第6・7回 様々な疑問詞    |
| 第8回 どのくらい～？     | 第9回 中国の文化について①  |
| 第10・11回 前置詞     | 第12・13回 「的」の使い方 |
| 第14回 中国の文化について② | 第15回 まとめ        |

**【テキスト】**

開講時に指定。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

中国語は初級からのレベルアップが難しい言語です。基礎事項を確認しつつ、応用力をつけましょう。

**【評価方法】**

授業での発言、および期末の筆記試験をもとに評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放										
60530		中国語四	2	齋藤 知広	後期											
<p><b>【達成目標】</b> 「中国語三」で学んだ内容を踏まえて、さらに実践的な中国語能力の習得を目指す。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b> 〔講義スケジュール〕</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回 ガイダンス</td> <td>第2・3回 相手の意向を尋ねる文</td> </tr> <tr> <td>第4・5回 「了」の用法</td> <td>第6回 中国の文化について①</td> </tr> <tr> <td>第7・8回 進行を表す</td> <td>第9・10回 経験を表す</td> </tr> <tr> <td>第11～13回 自己紹介</td> <td>第14回 中国の文化について②</td> </tr> <tr> <td>第15回 まとめ</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b> 開講時に指定。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> 自己紹介の仕方など、より実践的な中国語能力が身につくようにしたいと思います。</p> <p><b>【評価方法】</b> 授業での発言、および筆記試験をもとに評価する。</p>							第1回 ガイダンス	第2・3回 相手の意向を尋ねる文	第4・5回 「了」の用法	第6回 中国の文化について①	第7・8回 進行を表す	第9・10回 経験を表す	第11～13回 自己紹介	第14回 中国の文化について②	第15回 まとめ	
第1回 ガイダンス	第2・3回 相手の意向を尋ねる文															
第4・5回 「了」の用法	第6回 中国の文化について①															
第7・8回 進行を表す	第9・10回 経験を表す															
第11～13回 自己紹介	第14回 中国の文化について②															
第15回 まとめ																

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60610		スポーツ実技一	1	比留間 浩介	前期	
<p><b>【達成目標】</b> 個人種目スポーツ（テニス、バドミントン、卓球、ゴルフ）の基本的な技術、戦術あるいはルールなどにふれることで、スポーツの楽しみ方（実際にする、観るなど）を身につける。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 上記の種目について1種目につき4時間程度ずつ実技を実施していきます。最初の時間にオリエンテーションを実施し受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②～⑮テニス、バドミントン、卓球、ゴルフをグループごとに実施する</p> <p><b>【テキスト】</b> ジャージ等の身体を動かせる服装で、屋外での実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。また手軽に水分補給ができるようにそれぞれ準備することをおすすめします。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> この時間は、個人種目のスポーツを通じて楽しく身体を動かす時間です。それぞれの種目を実際にやってみることで、身体を動かす楽しさはもちろん、それぞれの種目のおもしろさにもふれることができるでしょう。その中からみなさんが生涯楽しんでいけるスポーツにも出会えるかもしれません。スポーツが好きな人はもちろん、スポーツが苦手な人もまずは一緒にやってみましょう。みなさんのスポーツ熱が高まるような授業にしていきたいと考えています。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60620		スポーツ実技二	1	比留間 浩介	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 個人種目スポーツ（テニス、バドミントン、卓球、ゴルフ）の基本的な技術、戦術あるいはルールなどにふれることで、スポーツの楽しみ方（実際にする、観るなど）を身につける。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 上記の種目について1種目につき4時間程度ずつ実技を実施していきます。最初の時間にオリエンテーションを実施し受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②～⑬テニス、バドミントン、卓球、ゴルフをグループごとに実施する</p> <p><b>【テキスト】</b> ジャージ等の身体を動かせる服装で、屋外での実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。後期は大変寒いので、運動しやすく暖かい服装（ウインドブレーカーなど）を準備することをおすすめします。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> この時間は、個人種目のスポーツを通じて楽しく身体を動かす時間です。それぞれの種目を実際にやってみることで、身体を動かす楽しさはもちろん、それぞれの種目のおもしろさにもふれることができるでしょう。その中からみなさんが生涯楽しんでいけるスポーツにも出会えるかもしれません。スポーツが好きな人はもちろん、スポーツが苦手な人もまずは一緒にやってみましょう。みなさんのスポーツ熱が高まるような授業にしていきたいと考えています。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60630		スポーツ実技三	1	比留間 浩介	前期	
<p><b>【達成目標】</b> 球技スポーツ（バスケットボール、バレーボール、フットサルなど）を楽しみながら、それぞれの種目の基本的な技術、戦術あるいはルールなどにふれることで、スポーツの楽しみ方（実際にする、観るなど）を身につける。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 上記の種目について、1種目につき3時間程度ずつ実技を実施していきます。最初の時間にオリエンテーションを実施し、受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②～⑬バスケットボール、バレーボール、フットサルなどをグループごとに実施する</p> <p><b>【テキスト】</b> ジャージ等の身体を動かせる服装で、屋外での実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。また手軽に水分補給ができるようにそれぞれ準備することをおすすめします。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> この時間はチームスポーツを対象とした時間です。みなさん1人1人には、例えば、右利きの人左利き人、走るのが速い人遅い人など、それぞれ特徴があります。仲間同士でその特徴を生かし合いながら、チームでスポーツをする楽しさを味わってください。また、ゲーム中の戦術や技術にふれれば、これらのスポーツを観るときに新たな楽しみ方が増えます。みなさんがこの時間を楽しみに思い、より意欲的に参加できるような時間にしていきたいと思います。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60640		スポーツ実技四	1	比留間 浩介	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 球技スポーツ（バスケットボール、バレーボール、フットサルなど）を楽しみながら、それぞれの種目の基本的な技術、戦術あるいはルールなどにふれることで、スポーツの楽しみ方（実際にする、観るなど）を身につける。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 上記の種目について、1種目につき3時間程度ずつ実技を実施していきます。最初の時間にオリエンテーションを実施し、受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②～⑮バスケットボール、バレーボール、フットサルなどをグループごとに実施する</p> <p><b>【テキスト】</b> ジャージ等の身体を動かせる服装で、屋外での実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。後期は大変寒いので、運動しやすく暖かい服装（ウインドブレーカー等）を準備することをおすすめします。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> この時間はチームスポーツを対象とした時間です。みなさん1人1人には、例えば、右利きの人左利き人、走るのが速い人遅い人など、それぞれ特徴があります。仲間同士でその特徴を生かし合いながら、チームでスポーツをする楽しさを味わってください。また、ゲーム中の戦術や技術にふれば、これらのスポーツを観るときに新たな楽しみ方が増えます。みなさんがこの時間を楽しみに思い、より意欲的に参加できるような時間にしていきたいと思えます。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60650		スポーツ実技五	1	比留間 浩介	前期	
<p><b>【達成目標】</b> 個人スポーツやチームスポーツ、ニュースポーツなど様々なスポーツを経験することで、身体を動かすことの楽しさやこれまでに経験したことのないスポーツを行うことの楽しさを味わう。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> これまでに経験してきているようなスポーツや軽スポーツなど様々なスポーツを1種目につき1～2時間ずつ実施していきます。授業回数の後半は、授業で実施した種目の中から、各個人が好きな種目を選択して実施します。最初の時間にオリエンテーションを実施し受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②～⑮インディアカ、スカイクロス、フリーテニス、ユニホックなどをグループごとに実施する</p> <p><b>【テキスト】</b> ジャージ等の身体を動かせる服装で、屋外での実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。また手軽に水分補給ができるようにそれぞれ準備することをおすすめします。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> この時間は様々なスポーツ種目を実施します。これまでにやったことのないスポーツも出てくることでしょう。新たな種目に挑戦することのおもしろさや、身体を動かすことの楽しさを味わってください。生涯楽しんでいけるスポーツと出会えるかもしれません。みなさんがより積極的にスポーツを楽しめるような時間になりたいと思っています。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						



科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60660		スポーツ実技六	1	比留間 浩介	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 個人スポーツやチームスポーツ、ニュースポーツなどの様々なスポーツを経験することで、身体を動かすことの楽しさやこれまでに経験したことのないスポーツを行うことの楽しさを味わう。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> これまでに経験してきているようなスポーツや軽スポーツなど様々なスポーツを1種目につき1～2時間ずつ実施していきます。授業回数の後半は、授業で実施した種目の中から、各個人が好きな種目を選択して実施します。最初の時間にオリエンテーションを実施し受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②～⑮インディアカ、スカイクロス、フリーテニス、ユニホックなどをグループごとに実施する</p> <p><b>【テキスト】</b> ジャージ等の身体を動かせる服装で、屋外での実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。後期は大変寒いので、運動しやすく暖かい服装（ウインドブレーカー等）を準備することをおすすめします。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> この時間は様々なスポーツ種目を実施します。これまでにやったことのないスポーツも出てくることでしょう。新たな種目に挑戦することのおもしろさや、身体を動かすことの楽しさを味わってください。生涯楽しんでいけるスポーツと出会えるかもしれません。みなさんがより積極的にスポーツを楽しめるような時間にしたいと思います。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60670		スポーツ実技七	1	比留間 浩介	前期	
<p><b>【達成目標】</b> フィットネストレーニングを通じて楽しく身体を動かしながら自分の体調をチェックしたり体力レベルを維持・増進したりできるような手段を身につける。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> エアロビクス、ウエイトトレーニング、ジョギングなどを組み合わせて進めていきます。最初のオリエンテーションを実施し、受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②～⑮エアロビクス、ウエイトトレーニング、ジョギングなどをグループごとに実施する。</p> <p><b>【テキスト】</b> 特に指定しません。ジャージ等の身体を動かせる服装で、グラウンドでの実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> この時間は、簡単にできる運動を通して、身体を動かすことの楽しさ喜びを味わって欲しいと考えています。その中で継続的に続けることができる運動をみつけて欲しいと思っています。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60680		スポーツ実技八	1	比留間 浩介	後期	
<p><b>【達成目標】</b>            フィットネストレーニングを通じて楽しく身体を動かしながら自分の体調をチェックしたり体力レベルを維持・増進したりできるような手段を身につける。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>            エアロビクス、ウエイトトレーニング、ジョギングなどを組み合わせて進めていきます。最初のオリエンテーションを実施し、受講者数を決定します。受講者数が決定した段階で実際の実施形態を指示します。</p> <p><b>【授業計画】</b>            ①オリエンテーション ②～⑬エアロビクス、ウエイトトレーニング、ジョギングなどをグループごとに実施する。</p> <p><b>【テキスト】</b>            特に指定しません。ジャージ等の身体を動かせる服装で、グラウンドでの実技の場合には運動用のシューズ、体育館での実技の場合には上履きとは別に体育館用のシューズを必ず準備してください。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>            この時間は、簡単にできる運動を通して、身体を動かすことの楽しさ喜びを味わって欲しいと考えています。その中で継続的に続けることができる運動をみつけて欲しいと思っています。</p> <p><b>【評価方法】</b>            出席回数で評価します。開講数の3分の2以上の出席が必要です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60690		スポーツ実技九	1	比留間 浩介	集中	
<p><b>【達成目標】</b>            自然に触れ合いながら身体を動かす楽しさを味わえるようにする。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>            カヌー、トレッキングなど自然の中で行うスポーツを楽しむ。</p> <p><b>【授業計画】</b>            事前、事後指導ならびに二泊三日の西川町月山での宿泊形式（コテージ）で行う。その中で、カヌー、トレッキング、グラウンドゴルフ、フィッシングなどの自然スポーツを行う。具体的な日程はオリエンテーションで指示します。</p> <p><b>【テキスト】</b>            必要な物品等はオリエンテーションで指示します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>            自然の中で様々な体験をすることで、身体を動かす楽しさや爽快感を味わって欲しいと思います。</p> <p><b>【評価方法】</b>            参加状況とレポートによって総合的に評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60700		スポーツ実技十	1	比留間 浩介	集中	
<p><b>【達成目標】</b> スキーの基本技術を学び、冬期間に行う運動種目の一つとして活用できるようにする。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 冬季野外活動種目の一つであるスキーを教材に実習を行う。主として、レベル別のグループ講習を通して、技能を高める。</p> <p><b>【授業計画】</b> 事前、事後指導ならびに二泊三日の宿泊形式（山形蔵王）で行う。その中で、スキーの基本技術を身に付ける。 具体的な日程はオリエンテーションで指示します。</p> <p><b>【テキスト】</b> 必要な物品等はオリエンテーションで指示します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> 雪山でのスキーを通して、身体を動かす楽しさや爽快感を味わって欲しいと思います。</p> <p><b>【評価方法】</b> 参加状況とレポートによって総合的に評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
60720		スポーツ文化論	2	比留間 浩介	後期																	
<p><b>【達成目標】</b> 競技スポーツ（オリンピックやプロスポーツ）と生涯スポーツ（楽しみや健康のためのスポーツ）の2つの側面から、スポーツ界の現状を知り、スポーツの持つ様々な魅力や問題点に触れることで、スポーツのみかたや考え方を深める。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> スポーツに関する様々な内容を取り上げ、講義形式で行う。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>①オリエンテーション</td> <td>⑨競技力向上と科学2-ドーピングって何？-</td> </tr> <tr> <td>②生涯スポーツとスポーツクラブ1</td> <td>⑩スポーツを観戦してみよう1</td> </tr> <tr> <td>③生涯スポーツとスポーツクラブ2</td> <td>⑪スポーツを観戦してみよう2</td> </tr> <tr> <td>④生活環境とスポーツ</td> <td>⑫メディアとスポーツ</td> </tr> <tr> <td>⑤教育とスポーツ1-学校とスポーツ-</td> <td>⑬ルールとスポーツ</td> </tr> <tr> <td>⑥教育とスポーツ2-運動部活動-</td> <td>⑭健康とスポーツ</td> </tr> <tr> <td>⑦人種とスポーツ-競技力に対する人種の影響-</td> <td>⑮トピックス</td> </tr> <tr> <td>⑧競技力向上と科学1-アスリートのサポート-</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b> 特に指定しません。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> みなさんの身近なところから世界に至るまで、スポーツの様々な側面をみることで、これまで以上に深くスポーツを観ることができると思います。みなさんの意見や考えなども聞きながら、様々な見方や考え方を引き出せるよう工夫していきたいと思っています。</p> <p><b>【評価方法】</b> 出席回数と講義期間中に課す課題の提出で評価します。</p>							①オリエンテーション	⑨競技力向上と科学2-ドーピングって何？-	②生涯スポーツとスポーツクラブ1	⑩スポーツを観戦してみよう1	③生涯スポーツとスポーツクラブ2	⑪スポーツを観戦してみよう2	④生活環境とスポーツ	⑫メディアとスポーツ	⑤教育とスポーツ1-学校とスポーツ-	⑬ルールとスポーツ	⑥教育とスポーツ2-運動部活動-	⑭健康とスポーツ	⑦人種とスポーツ-競技力に対する人種の影響-	⑮トピックス	⑧競技力向上と科学1-アスリートのサポート-	
①オリエンテーション	⑨競技力向上と科学2-ドーピングって何？-																					
②生涯スポーツとスポーツクラブ1	⑩スポーツを観戦してみよう1																					
③生涯スポーツとスポーツクラブ2	⑪スポーツを観戦してみよう2																					
④生活環境とスポーツ	⑫メディアとスポーツ																					
⑤教育とスポーツ1-学校とスポーツ-	⑬ルールとスポーツ																					
⑥教育とスポーツ2-運動部活動-	⑭健康とスポーツ																					
⑦人種とスポーツ-競技力に対する人種の影響-	⑮トピックス																					
⑧競技力向上と科学1-アスリートのサポート-																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
60710		健康理論	1	加藤 守匡	後期	

**【達成目標】**

- ・自分の健康管理を行なう上で必要となる知識や健康づくりの関する様々な情報について学習する。
- ・自分の健康管理を行う手法を学習する。

**【授業内容・方法】**

健康のためにどのようなことを実践していますか確認してもらい、健康に生きて行くためには、日常生活でどのような点に注意を置き、どのような生活スタイルを身につけたらよいかについて資料等を通して学習していく。

**【授業計画】**

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1：健康づくりに関する各種取り組みの紹介 | 2：自分自身の日常運動量及び体力について |
| 3：日頃の健康状態のセルフチェック法   | 4：メンタルフィットネス         |
| 5：健康と体力              | 6：現代の学生生活と健康         |
| 7：加齢と健康について          | 8：まとめ                |

**【テキスト】**

資料を適宜配布します。

- ・日経サイエンス <毎月発刊されており本学図書館にあります。健康関連の最新情報も知ることができます。>

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

健康に対する知識を習得し、自ら実践できるきっかけとなればと思います。この講義を通して自分の体の状態や健康に対して関心を高めて下さい。

**【評価方法】**

期末レポート課題（50%）、授業への参加度（50%）で評価します。